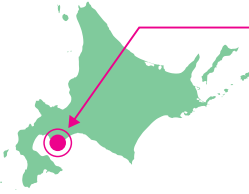




ゼロカーボン社会の実現に向けて

～バイオマス発電所の立地が進んでいます～



室蘭市

環境省の委託を受け、市所有の風力発電所で発電した電力を使い水素を製造し、既存のガス配送網を活用して水素を市内各所に配送・利用する実証事業を進めています。



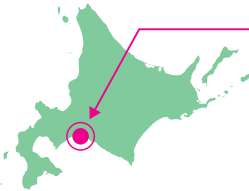
▶ 室蘭バイオマス発電所

所在地	室蘭市港北町
会社名	ENEOSバイオマスパワー室蘭合同会社
設立	2016年10月
出資比率	ENEOS(株) 90%、日揮ホールディングス(株) 10%
出力	74,900kW
燃料	パーム椰子殻
事業開始	2020年5月



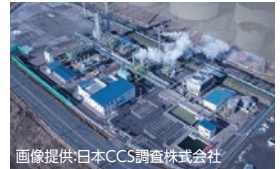
室蘭地区の魅力

天然の良港を有する室蘭は、地球岬やイタンキ浜などの「室蘭八景」に加え工場夜景(当社も貢献)で知られています。また、室蘭やきとり、カレーラーメンなど美味しい食べ物も沢山あります。そして、燃料を揚げる埠頭、操業に欠かせない工業用水、荷役や保全などを含め優秀な人材がそろった魅力的な街でもあります。(室蘭バイオマス発電所)



苫小牧市

豊富な再生可能エネルギーのポテンシャルを生かし、次世代エネルギー拠点の形成や、2030年までのCCS事業化に取り組んでいます。



画像提供:日本CCS調査株式会社

▶ 勇払バイオマス発電所

所在地	苫小牧市字勇払
会社名	勇払エネルギーセンター合同会社
設立	2019年2月
出資比率	日本製紙(株) 51%、双日(株) 49%
出力	74,950kW
燃料	輸入木質チップ(6割)、国内未利用材(1割)、パーム椰子殻(3割)
事業開始	2023年2月



苫小牧地区の魅力①

苫小牧市は国内有数の企業が立地する工業都市として発展しており、陸(高速道路)、空(千歳空港近接)、海(苫小牧港)と物流拠点としても非常に利便性の高い地域です。特に苫小牧港は道内最大で国内有数の工業港となっており、当発電所も燃料輸入に於いて活用させて頂いています。豊かな自然と利便性が共存する街が苫小牧です。(勇払バイオマス発電所)

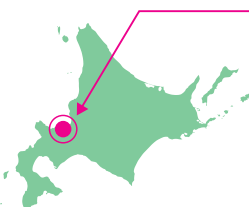
▶ 苫東バイオマス発電所

所在地	苫小牧市字弁天
会社名	苫東バイオマス発電合同会社
設立	2018年9月
出資比率	エクスグループ 80%、北海道電力 20%
出力	50,000kW
燃料	輸入木質ペレット、パーム椰子殻
事業開始	2025年4月(予定)



苫小牧地区の魅力②

木質ペレットは主に海外から船で輸入されますが、ばら積みのため雨天時は荷揚げできません。苫小牧は港湾が大きく整っており、かつ天候が安定しているため、木質ペレットの取り扱いには大変良いところです。また、発電には、気温が低く、大消費地に近く、大変有利な環境であり、これほどバイオマス発電所により地はありません。(苫東バイオマス発電所)



石狩市

石狩湾新港地域内の一部エリアに、企業の電力需要に対し、100%再エネによる供給を目指す「再エネ100%エリア」を設定、再エネの地産地消を通じ、企業の持続的な活動を実現します。



エネルギー産業集積状況 (建設中・計画中を含む)

▶ 石狩新港バイオマス発電所

所在地	石狩市新港中央
会社名	石狩バイオエナジー合同会社
設立	2015年6月
出資比率	(株)奥村組 50%、九電みらいエナジー(株) 30%、(株)New Circle Energy 20%
出力	51,500kW
燃料	輸入木質ペレット、パーム椰子殻
事業開始	2023年3月



石狩湾新港地域の魅力

石狩湾新港地域は札幌市からのアクセスもよい好立地にあり、工業用水をはじめとする主要なインフラが整った工業地域です。同地域は人々のたゆまぬ努力により急速な発展を続けており、新たな進化を遂げることは想像に難くなく目が離せません。(石狩新港バイオマス発電所)